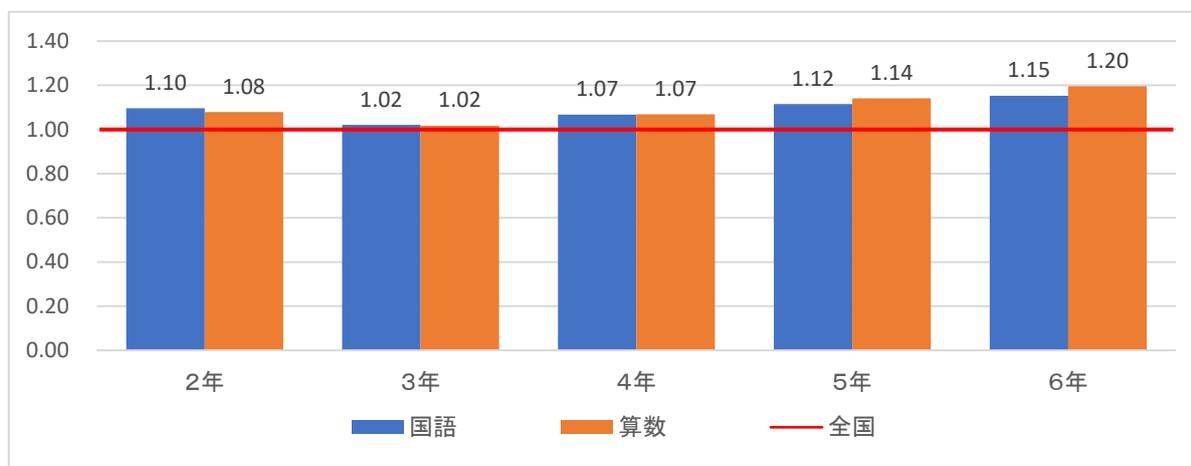


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第六中学校区 第五小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	文章の構成や書き表し方を工夫して記述する問題や漢字の記述において良い結果であった。引き続き、基礎基本となる言葉についての学習や、わかりやすく工夫して表現する学習課題を充実させていく。
	算数	小数・分数・計算の決まりなどの「数と計算」領域やグラフなどの「数量関係」領域において良い結果であった。引き続き、図形や面積の知識・技能に関する学習を充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	漢字や主語・述語の関係など「言葉の特徴やきまりに関する知識・技能」において良い結果であった。引き続き、自分の考えが伝わるように表現を工夫する学習課題を充実させていく。
	算数	「小数の割り算」や「速さ」の問題で、特に良い結果であった。図形や面積の知識・技能に関する学習や、折れ線グラフ等の資料を読み取り、言葉と数を用いて説明する学習を充実させていく。
	質問紙	「自分には、よいところがあると思いますか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」について肯定的な回答が多い。引き続き、仲間と共に学ぶなかで認め合い、お互いの良さに気づき、自己肯定感を高めていけるよう支援していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

全国学力・学習状況調査、市到達度調査の結果を踏まえ、課題の共有と対応策の構築を図る。また、寝屋川スタンダードに基づき、ディベート教育や家庭学習ノートなど、中学校区での統一した取組を行い、小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりに努めている。小中連携会議においては各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。

【 学 校 】

少人数指導や教科担任制、学年副担任制の充実を図る等、個に応じた丁寧な指導に努めている。ディベート学習やICT機器の活用を通じて、自らの考えを深め、活発に交流する授業を行い、「考える力」の育成を図っている。